

双葉西小だより

令和5年 6月20日 文責 学校長 窪田 正幸



道徳授業参観

ありがとうございました

6月10日（土）に土曜学校を行いました。今年度は、ほぼコロナ前と同様な形で実施することができました。引き渡し訓練もあったため、保護者の皆様には徒歩での来校をお願いさせていただきましたが、保護者の皆様方のご理解とご協力により、スムーズに実施することができましたことを、お礼申し上げます。

さて、2校時の道徳授業公開では、学級ごとに様々な教材・主題を元にして、自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりしながら思考を深めていく授業が行われました。

2018年度に教科化された「特別の教科 道徳」は、「多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢こそ道徳教育で養うべき基本的資質である」（学習指導要領解説編）とされています。また、このような基本的資質を養うために、「『考える道徳』、『議論する道徳』へと転換を図る」ともされています。

今回の授業の中でも、資料をきっかけとして、子どもたち一人ひとりが自分なりの考えを持ち、お互いの考えを寄せ合ったり尊重しあったりしながら、主体的に考え判断する力、意見や考えが違ったとしても、よりよい方向を目指し努めていこうとする資質・能力を育てていく場面が見られたのではないかと思います。

道徳教育は全教育活動（各教科や特別活動、清掃、給食 等全て）を通じて行われることが求められます。日常生活の中には葛藤する場面も多々ありますが、そのような中でも自他を大切にしながら主体的に考え判断していく経験を積み重ねていけるようにしたいと考えています。

授 業 内 容



クラス	教材名	主題名
1-1	心をつないで	ともだちとなかよし
1-2	心をつないで	ともだちとなかよし
2-1	およげないりすさん	友達の立場になって
2-2	およげないりすさん	友達の立場になって
2-3	およげないりすさん	友達の立場になって
3-1	みんなとHAPPYに過ごそう	きまりの意義を理解しそれを守る
3-2	みんなとHAPPYに過ごそう	きまりの意義を理解しそれを守る
4-1	ブラッドレーの請求書	家族のためにできること
4-2	ブラッドレーの請求書	家族のためにできること
5-1	ロレンソの友達	豊かな人間関係をつくる
5-2	ロレンソの友達	豊かな人間関係をつくる
6-1	江戸しぐさ	集団の中で気持ちよく過ごすために
6-2	自分らしさについて考えよう	短所を改め長所を伸ばす
ふたば	どんなきもちかな	自分の気持ちを考えよう
みどり1	ブラッドレーの請求書	家族のためにできること
みどり2	どんなきもちかな	相手の気持ちを考えよう

文化講演会

PTA 文化部主催の文化講演会が、道徳授業参観に引き続き、体育館で行われました。4年ぶりの開催ということで、全校児童とともに、180名近くの保護者の皆様にもご参加いただき、親子で楽しむことができました。

今回は、NPO 法人山梨子ども図書館理事長でいらっしゃいます宮崎さな系様をお迎えし、お話を行いました。物語の世界に引き込む語り口調、子どもたちも参加しながら言葉の掛け合いの面白さを楽しむプログラムなど、様々な工夫の中で話し会を楽しむことができました。宮崎さんには、今後も学級や学年でのお話し会に来ていただき、読み聞かせや本の紹介などをしていただけることになっています。

文化部役員の皆様方には、企画や運営などに御尽力いただきました。ありがとうございました。



避難訓練・引き渡し訓練

「学校を、子どもたちにとって安心・安全な場所に！」という強い思いをもって、定期的に防災訓練を行っています。「訓練」を表す英語に「ドリル」という単語があること（地震避難訓練なら Earthquake drill）からもわかるように、計算や漢字ドリルのようにくり返すことで基本的な避難の技術を身に付けさせていく事がねらいです。

しかし、計算ドリルだけで算数の力がつくわけではないのと同様に、避難訓練だけでは十分とは言えません。大切なことは「自分の命は自分で守る」ための、状況に応じた「判断力」を身につけさせることです。学校でも、予告なしの避難訓練（シェイクアウト訓練）等、実践的な訓練をしていく予定ですが、学校の教育活動だけでなく、家庭や地域の教育力によるところも大きいものであると思います。防災・防犯意識が高まっている今だからこそ、ご家族でも「もしも」の対応について話し合ってくださいと思います。

避難・引き渡しの様子



避難訓練時の校長の話

およそ1ヶ月前の5月5日、石川県で震度6強という、とても大きな地震が起きました。家が壊れたり神社の鳥居が倒れたりした映像をテレビで見た人も居ると思います。この地震では、亡くなられた方もいました。改めて「地震って恐いな」と実感した人も多いのではないのでしょうか。

そしてその後も、日本のあちこちで大きな地震が何回か続きました。校長先生が調べてみると、4月1日から今日まで、小さな地震も含めて日本で地震が起きなかった日は1日もありませんでした。つまり毎日、必ず日本のどこかで地震が発生しているのです。

地震の怖いところは、どのくらいの揺れの地震が、いつどこで起こるか予想ができないということです。つまり今日のように、心の準備ができているというわけにはいかないのです。もしかすると、突然大きな揺れに慌てたり、恐くて動けなくなったりすることもあるかもしれません。そうならないように、たとえ一人の時であっても正しい行動を落ち着いてできるようにするために、普段、私たちができることは、このような訓練を通して、自分の命・安全を守れるように練習しておくことしかないのです。（中略）

今日はこの後、お家の人と一緒に帰ります。大きな地震が起こった時には、その後も地震が続くことがあります。また、地震が起こった後は、道路が壊れていたり、停電で信号が消えていたり、建物などが倒れていたりなど、いろいろな危険が考えられます。なので、震度5弱以上の地震の時には、お家の人に学校まで迎えに来てもらうことになっています。そのための練習です。今日は、一緒に歩いて帰りながら、道路や周りの建物など、危険なところを確認してください。また、地震が起こったときに、自分の命を自分で守るためにどうしたらよいか、お家の人とも話をしてみてください。